

文献目録

文献調査委員会

注：○掲載順序：雑誌名・巻号・発行年月・論文名・ページ数・著者。
○目録欄に登載の雑誌はすべて土木学会土木図書館備付図書である。

土木施工 17-1 76-1

- 1 札幌市地下鉄東西線車両基地建設工事 (13-19) 秋山忠禧
- 2 青函トンネル作業坑の破砕帯の施工(その2) (20-26) 北村・鶴田・佐々木
- 3 今月の労務・資材 (27-33) 渡辺義正
- 4 電信電話工事における地下埋設物の安全対策 1. 一般編 (36-41) 山川喜弘
- 5 電信電話工事における地下埋設物の安全対策 2. 開削工法編—開削洞道および管路工事— (42-48) 山川・小竹
- 6 電信電話工事における地下埋設物の安全対策 3. シールド工法編 (49-58) 小竹・山川
- 7 電信電話工事における地下埋設物の安全対策 (65-67) 山川・小竹
- 8 新しく下水道整備事業に取り組み始める方へ—下水道建設入門— (70-75) 松井大悟
- 9 造園施工管理者のための基礎知識 (その5) (79-96) 麻田・小笹
- 10 土木工事技術者学科試験法規関係 (2) (101-104) 深水五郎
- 11 プレストレストコンクリート船開発の現況と問題点 (97-100) 猪股俊司

土木施工 17-2 76-2

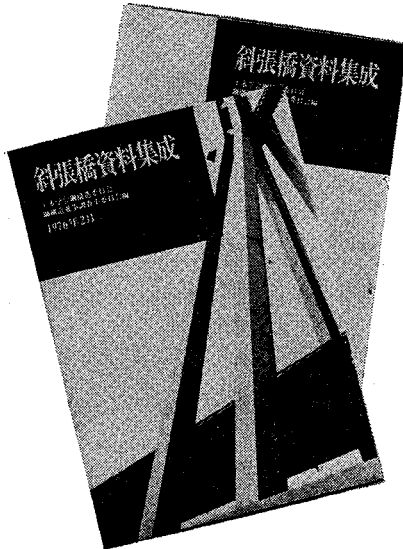
- 12 鬼首地熱発電所建設における経緯と土木工事の概要 (11-22) 近藤皓治
 - 13 神戸浜手バイパスにおけるケーソン沈設促進工法 (上) (23-31) 久保・常沢・和田
 - 14 札幌市地下鉄南北線延長工事 (32-38) 林 要一
 - 15 新しく下水道整備事業に取り組み始める方へ—下水道建設入門— (その2) (40-42) 松井大悟
 - 16 リモート・センシングの原理と土木建設への応用(その3) (48-52) 淵本正隆
 - 17 土木技術者のためのレジコンクリート (その5) (53-58) 清水茂夫
 - 18 土木工学と安全—構造物の破壊と事故に学ぶ (その16) (43-45) 島田静男
 - 19 地下連続壁工法に関する用語 (その3) (46-47) 副島寅二郎
 - 20 ブレードシールドオープンビット工法 (解説) —愛知県東海市土留木川改修工事 (65-71) 富 国昭
 - 21 総合開発の現況と計画 (その1) 静岡県 (75-80) 後藤貞一
 - 22 今月の労務・資材 (15) (82-87) 渡辺義正
 - 23 マスコンクリートの自然放熱に関する算定式について (81-87/96) 松橋敦保
 - 24 新開発による掘削併用スライム処理機 (88-93)
 - 25 土木工事技術者学科試験・工程管理 (98-105) 深水五郎
- ### 土木技術 31-1 76-1
- 26 青函トンネル工事の現況と技術課題 (37-42) 三谷雅昭
 - 27 養生中に振動を受けるコンクリート構造に関する一研究 (2) (43-53) 西村 昭, 外3名

- 28 馬淵川潮止堰 (69-80) 水越・外山・齋田
 - 29 双葉ダムのダムタイプの選定と基盤処理 (81-92) 杉井・沢田
 - 30 最近の着目すべき施工法—アースアンカー工法— (5) (93-100) 荒木・岡崎
- ### 土木技術 31-2 76-2
- 31 液状ヘドロの安定処理 (24-29) 小野 (竹)・小野 (学)・玉井
 - 32 新泰平橋の設計と施工 (30-43) 土屋・佐藤
 - 33 福井港防波堤工事 (61-70) 松山方彦
 - 34 本部町公共下水道の工事概要 (71-79) 武田篤夫
 - 35 最近の着目すべき施工法—アースアンカー工法 (6) (45-52) 荒木・岡崎
 - 36 P C桁の架設工 (10) (80-86) 小林明夫
 - 37 海上工事安全施工基準の解説 (その1) (87-93) 今井・横田
- ### 施工技術 9-1 76-1
- 38 開発計画の概要 (6-7)
 - 39 水力発電計画 (2-15)
 - 40 一般公共設備計画 (16-26)
 - 41 農・畜産業開発 (27-39)
 - 42 調査・設計計画 (41-53)
 - 43 岩石の風化—その強度消失のプロセス— (94-96) 吉中龍之進
 - 44 地盤土および材料土としてのレス土の工学的特性 (56-64) 三木・齋藤
 - 45 エポキシアスファルト舗装—室内実験と公開施工試験からの報告— (65-71) 伊吹山・高須・田代
 - 46 タイプ工法による軟弱地盤での鋼管杭打ち工事 (72-78) 吉塚・細川・大杉
 - 47 九州における特殊工の土性と品質管理 (下) (79-85) 原田・瀬戸山・瀬谷
 - 48 新しい定着システムによるアンカー工法—ソレタンシュアアンカー工法の原理と特性— (87-93) 島田俊介
 - 49 設計までの土質調査法と土質試験法 (21)—マサ土の調査・試験法とその適用— (97-104) 松尾・澤
 - 50 土木技術者の見たわが国の海洋開発 (7)—水中コンクリート— (105-111) 下村・島辺・沖
- ### 施工技術 9-2 76-2
- 51 複合基礎構造物の現状と問題点 (33-36) 矢作 枢
 - 52 ケーソンと杭 (37-43) 森重・福島
 - 53 建築鉄骨構造物と高速道路の基礎 (44-52) 内藤・遠藤
 - 54 オープンケーソンと場所打ち杭 (53-61) 子安・千葉
 - 55 脚付鋼管セル型ウエル (62-68) 野口・熊谷・森
 - 56 地下連続壁とコンクリート杭 (69-77) 榎本 守
 - 57 海外におけるタンク基礎の破壊例—その解析と対策工— (7-15) 東 正泰
 - 58 有機質土地盤における造成工事 (16-23) 宮田・市野・石原
 - 59 水位低下を利用した海底地盤の改良 (24-32) 佐々木 伸
 - 60 設計までの土質調査法と土質試験法 (22) —シラス地盤の土質調査法と施工性への対応 (81-89) 持永・田中
 - 61 土木技術者の見たわが国の海洋開発 (8) (90-98) 下村・岩淵
 - 62 海洋コンクリート (5) (99-104) 長崎作治
 - 63 土木技術者のための品質管理 (4) (105-111) 山田・出頭
 - 64 土木事故と広義の土木技術 (78-79) 飯吉精一
- ### 土と基礎 23-12 75-12
- 65 地震予知の現状と都市防災 (1-4) 三東哲夫
 - 66 最近の工学地震学の動向 (5-10) 小林啓美
 - 67 地盤の応答計算と東京地区内地盤の応答特性 (11-17) 望月・松田・宮野

斜張橋資料集成

鋼構造委員会
鋼構造進歩調
査小委員会編

A4判 196ページ 上製箱入
定価 14 000円
会員特価 12 600円 (〒300円)



1. 概説 1.1 歴史と展望 1.2 斜張橋の特長 1.3 構造一般 2. 斜張橋一覧 3. 斜張橋文献一覧 橋名別文献一覧 A.斜張橋一般 B.解析 C.耐風性 D.ケーブルおよび定着部 4. 文献抄録

●鋼構造の製作に影響を与える Batman橋の構造上の諸条件 ●Donauを渡る新道路橋計画 ●Bruchsal橋の設計と架設 ●Duisburg-Neuenkampのライン橋の塔の計算 ●Duisburg付近のライン河上に架設された世界最長の斜張橋 ●Erskine橋 ●Bonnのライン河にかかる Friedrich-Ebert橋 ●Düsseldorfの Jülicher Strasse橋 ●Düsseldorfの Knie橋の設計, 計算, 製作および架設 ●Hamburgの Köhlbrand橋 ●Kurt-Schumacher橋 ●Leverkusenのライン橋における自動車専用橋の鋼上部構造・鋼上部工の施工 ●Ludwigshafen/Rheinの新中央駅を跨ぐ高架橋 ●Maxauの Rhein河道路橋 ●Montrealの斜張橋 ●斜張形式を採用した Neckar鉄道橋 ●Newport橋中央径間の新構造 ●Norderelbe橋のケーブル疲労試験報告 ●Norderelbe橋の競争設計・橋梁上部構造・上部構造計算・鋼上部構造の施工・応力と振動測定 ●Parisの Masséna橋 ●stuttgartの歩道橋 ●Kölnの Severins橋の設計と施工 ●San Francisco 湾南横断斜張橋の解析 ●Stockholmの Strömsund橋 ●Swedenの長大斜張橋の架設 ●Düsseldorfの Nord橋の架設・静的計算と構造 ●英国の Wye高架橋 ●ソ連のコロステン市における斜張橋 ●Düsseldorfの Franklin橋引出し工事 ●Köhlbrand橋の主径間構造 ●

限定出版につき早目にお申込み下さい。
下記の書籍を含めて全国主要書店または
土木学会へ直接どうぞ。

土木学会編 3 0 0 0 円 鋼 鉄 道 橋 設 計 標 準 解 説

国鉄編 4 5 0 0 円 国 鉄 建 造 物 設 計 標 準 解 説

阪神公団編 3 0 0 0 円 港 大 橋 工 事 誌

土木学会編 1 8 0 0 円 海 洋 鋼 構 造 物 設 計 指 針 (案) 解 説

土木学会編 2 0 0 0 円 海 上 作 業 足 場 の 設 計 要 領

土木学会編 6 6 0 0 円 構 造 力 学 公 式 集

土木学会編 本四連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書
【47年版・4冊】4 5 0 0 円 【48年版・5冊】1 6 0 0 0 円

土木学会編 橋 1974-75 2 7 0 0 円 橋 1973-74 2 5 0 0 円 バックナンバーも
あります。

〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会 ☎ 355-3441(販売) 振替東京6-16828

- 68 東京チュウ積地盤の地震時応答の予測 (19-25) 矢作 枢, 外 3 名
- 69 砂地盤の動的変形特性の現場測定と室内実験 (27-32) 栗林 栄一, 外 3 名
- 70 地盤調査結果と応答解析について (33-41) 佐藤・武富
- 71 軟弱地盤上に築造された八郎潟干拓堤防の耐震性について (43-49) 河上・浅田
- 72 地震時の地盤内応力とヒズミー土の非線形性の影響— (51-58) 柴田・佐藤
- 73 最近の第四紀地質学 6. 大阪層群とその相当層—鮮新世～前期洪積世の地層群— (65-72) 市原 実
- 74 緑化工 3. 緑化基礎工 (73-79) 小橋・山寺
- 75 シソーラス (Thesaurus) 1. シソーラス入門 (その 2) (～) 園田桂一
- 76 \sqrt{E} 法グラフを用いたスベリモーメントの計算法 (80-82) 沢口・高橋
- 77 地中埋設管に関するシンポジウムの報告 (63-64) 山口柏樹
- 78 台風 6 号による石狩川の水害 (90-91) 佐々木晴美
- 79 開通間近の沈埋トンネル (92-93) 末吉 学
- 80 プレート・テクトニクスプレートはなぜ動くか— (25-26) 三東哲夫
- 81 軟岩のクリープ (61-62) 菅原 捷
土と基礎 24—1 76—1
- 82 公害と土質工学 (1-2) 後藤正司
- 83 岩盤の調査および設計 (3-6) 岡本舜三
- 84 岩盤分離面の表面形状とセン断強さとの関連 (7-12) 吉中・小野寺
- 85 異方性岩盤におけるセン断強度特性の測定と空洞掘削の数値解析例 (13-19) 日比野 敏, 外 3 名
- 86 地下空洞における岩盤のクリープ変形の計測とその適用 (21-26) 世良田・岩崎・足立
- 87 「最近の第四紀地質学」7. 石灰岩地帯の第四紀地質学 (65-72) 沖村・高安
- 88 「緑化工」4. 植生工とその適用 (79-85) 木田和幸
- 89 シソーラス (Thesaurus) 2. シソーラスの利用 (73-78) 園田桂一
- 90 東北新幹線大河原橋りょうの耐震設計 (88-89) 森重龍馬
- 91 泥炭層のでき方 (33-34) 鈴木舜一
- 92 平戸大橋におけるゆるい砂岩のクリープ変形について (27-33) 大志万和也
- 93 孔内載荷試験と岩盤の変形に関する特性の研究 (35-41) 武内・田中・鈴木
- 94 薬液注入における注入範囲の電気的測定 (43-50) 吉住・斎藤・菅野
- 95 岩盤調査ボーリングにおける湧水層の検知 (51-57) 藤原忠一
- 96 粘土の構造に関する用語について (59-64) 松尾・嘉門
- 97 地中埋設管の不同沈下 (86-87) 堀内孝英
土と基礎 24—2 76—2
- 98 文明の盛衰と植生 (1-3) 都留信也
- 99 土質工学における植生の役割 (5-9) 八幡敏雄
- 100 傾斜地の侵食防止工法 (11-17) 中谷三男
- 101 干拓地の土質と植生—主として八郎潟干拓地について— (19-26) 竹中・江崎
- 102 地スベリ地区の土層と植生 (27-32) 東 三郎
- 103 土質調査における植生の見方 (33-38) 宮脇・佐々木
- 104 川面の安定に及ぼす植生の影響 (39-45) 小橋澄治
- 105 林地切削による斜面の安定性 (47-52) 東山・金内
- 106 土の圧密試験方法の JIS 改訂原案について (53-53) 山田清臣
- 107 圧密試験方法の JIS 改訂案について (解説) (53-54) 中瀬明男
- 108 土の圧密試験方法 (JIS 改訂案) (55-58) 圧密試験法基準化委員会
- 109 抵抗モーメントを求める影響図表(砂質地盤) (59-61) 沢口・高橋
- 110 「最近の第四紀地質学」7. 第四紀の火山性タイ積物 (63-70) 郷原保真
- 111 「緑化工」5. 保護・管理工 (79-83) 寺崎・前堀
- 112 シソーラス (Thesaurus) 3. 土質工学シソーラス (案) (71-76) 三木五三郎
- 113 大雪山における道路ノリ面の試験植生 (76-78) 杉本好弘
- 114 凍結圧 (9-10) 榎戸源則
- 115 クイの降伏支持力(荷重)と極限支持力 (89-90) 阪口 理
建設の機械化 309 75—11
- 116 水資源の課題 (3-6) 堀 和夫
- 117 水資源開発の展望 (7-8) 広瀬利雄
- 118 農業用水需要の動向 (9-12) 吉田良知
- 119 上水道の問題点 (13-15) 国川建二
- 120 工業用水の現状と将来 (16-20) 向山光幸
- 121 水資源としての海水淡水化 (21-25) 佐山 実
- 122 水資源の再利用 (26-30) 永末博幸
- 123 長崎南部総合開発における淡水湖計画 (34-37) 久保治士
- 124 岩屋ダムの計画と現況 (38-45) 長谷川静雄
- 125 三保ダムの計画と現況—酒匂川総合開発事業— (46-52) 田辺・川合
- 126 児島港淡水化事業と周辺地域の水利用の変遷 (53-57) 藤田則之
- 127 芦田川河口堰の計画と現況 (58-65) 松永・酒井・池田
- 128 霞ヶ浦開発事業 (66-72) 鈴木富千代
建設の機械化 310 75—12
- 129 京葉線大型シールド工車の現況 (3-9) 高木・増井
- 130 保守省力化のための鉄道路盤強化工法 (10-16) 柳沢・原
- 131 フロンテジャッキング工法による大断面地下道の施工 (17-23) 上・皆川
- 132 第 1 北上川橋梁における移動支保工の施工実績 (24-31) 小田島・加藤
- 133 コンクリート無騒音破壊機の施工実績 (32-37) 山口宗義
- 134 環境問題を考える (38-40) 従野武邦
- 135 川治ダムの施工設備概要 (41-47) 須永儀一
- 136 深層混合処理機—石灰による新しい地盤改良工法— (48-52) 山根・青井
- 137 ROPS 試験装置の計画 (53-56) 瀬田幸敏
- 138 パワーショベルの駐車ブレーキについて (57-60) 渡辺 正
- 139 ISO/TC 127/SC 4 バリ会議報告 (61-64) ISO 部会・第 4 委員会
- 140 ISO/TC 127 キェフ会議報告 (65-75) ISO 部会
建設の機械化 311 76—1
- 141 安定処理工法の施工機械とその実施例 (26-29) 高野・仁瓶
- 142 超軟弱地盤の化学的処理工法—コンソリダーシステム— (30-33) 中村・田原
- 143 高砂西港ヘドロ処理工法の概要 (34-37) 黒岩・川村

共立出版

112 東京都文京区小日向4 電話03(947)2511

建設技術者のための空中写真判読

武田裕幸・今村遼平著 A5判・253頁・定価2200円
日本における地形および地質は、植生が厚く地質構造が複雑で、空中写真判読のむづかしいところである。著者は10数年間一貫して路線・防災および環境関係を対象に、写真判読に従事し、同時に著者の豊富な現場経験をもとに、日本における空中写真判読の体系を作るべく努力してきた。本書は、その意味で現場に密着した空中写真判読の指針ともいえる。

建設技術者のための岩石学

関 陽太郎著 A5判・162頁・定価1600円
土木、建築の両部門に必要な岩石・岩盤の性質や強さおよび変形特性などの工学的特性を、その成因と歴史をふまえて、できるだけわかりやすく解説している。岩石・岩盤についての基礎知識を把握するのに最適な書。

既刊書より

| | | |
|------------|------------|--------|
| 応用弾性学 | 川本眺万著 | 2700円 |
| 土質力学 | 後藤正司著 | 15000円 |
| 水理学 | 小川 元著 | 21000円 |
| 応用流体力学 | 室田 明著 | 16000円 |
| 土木地質学 | 宮崎政三・高橋彦治著 | 32000円 |
| 橋梁工学改訂版 | 橋本雄著／中井博改訂 | 35000円 |
| 鉄筋コンクリート工学 | 横道英雄・藤田嘉夫著 | 25000円 |
| 河川工学 | 篠原謙爾著 | 17000円 |
| 上水工学 | 巽 巖著 | 26000円 |
| 地震工学 | 金井 清著 | 17000円 |
| 港湾工学 | 長尾義三著 | 35000円 |
| トンネル工学 | 粕谷逸男著 | 21000円 |

現場に、デスクに備えて役立つアース図書の土木実務書

●わかりやすく、ていねいな、測量用数学の教本!!

測量計算の基礎演習

○再版出来 土橋忠則著
A5判324頁上製箱入ビニール表紙定価2,800円(〒250円)

本書の特色

1. 測量のための数学を実用的に解説
2. 従来の型を破った立体的解説
3. 読者の身になって、懇切ていねいに説明
4. 数学の苦手な人には特に好適
5. 豊富な例題、実務に即した実用的練習問題
6. 高等な数学は一切省き、むだのない学習ができる
7. 便利な数学公式集を収録

新刊

建築の工事測量入門

奥田幸司著
A5判154頁 上製箱入 定価2,200円(〒200円)

建築の測量を工事施工との関連に重点をおいて解説
なわ張り、水盛り、やりかたの設定等基本作業を豊富な図を駆使して解説
一般的な測量理論は省き、工事測量に重点をおいて解説

●現場で役立つ、初級土木技術者・事務関係職員にも好適!!

図解・土木施工用語集

好評4版!! 稲橋俊一・福地喜明・村上生而 共著
B6判274頁上製箱入ビニール表紙定価1,800円(〒200円)

現場でよく使う通俗語、慣用語を多数図解入りで解説。
初級土木技術者、事務関係職員にも好適。
好評、大增刷!!

土木・建築の構造設計グラフ

村上生而著
B5判480頁 定価4,800円(〒280円)

応力計算や材料別断面計算がグラフですぐに求められる。
スピード設計グラフ!!

- I応力編/II鉄筋コンクリート編/鋼構造編/木構造編
- だれでも、すぐに使える、やさしいグラフ。
- 設計の初心者から中堅技術者、管理者に至る広範な対象。
- RC、鋼材、木材別に断面決定のための実用的で、便利な速算図表。

発行所

アース図書株式会社

東京都千代田区三崎町3-6-12
電話 03(261)2334 (263)4061
振替 東京 189837 郵便番号 101

内容見本
請求券
学会誌

- 144 大型ヘドロ浚渫船の現状 (38-41) 望月 光
- 145 泥水シールドの開発の経過 (42-45) 松島 寛
- 146 モノレールトレイン工法の開発と実施 (46-48) 熊谷憲一
- 147 トンネル掘進中における風道換気法の適用化 (49-53) 原田・肥塚
- 148 特殊せん孔機による捨石層へのせん孔 (54-56) 青木徳全
- 149 超高圧ジェットを利用した工事例 (57-63) 清水・石崎
- 150 PC橋梁の新しい架設工法 (64-67) 只野直典
- 151 新しい建築技術スウェー工法 (68-70) 長浜・柿沼
- 152 新しいスリップフォーム工法—シミズフレクスリップシステム— (71-74) 本田忠義
- 153 建設工事公害対策の実施例 (75-80) 内田保之
- 基礎工 3—7 75—11**
- 154 基礎工事における労働災害の発生状況とその防止に関する技術基準の概要 (2-16) 北山宏幸
- 155 基礎工の施工における安全管理 (17-23) 芳賀高成
- 156 酸素欠乏事故の事前調査と防止対策 (24-39) 三上辰雄
- 157 土止め工・路面覆工の安全対策 (40-54) 吉田取一
- 158 営業線近接工事の安全対策 (55-63) 平山正寿
- 159 埋設物処理と安全対策 (64-76) 和田・西村
- 160 京王線増工のうち新宿停車場建設工事における安全管理 (77-87) 長谷川・和田
- 161 首都高速9号線基礎工事における安全管理 (82-91) 工藤 充
- 基礎工 3—8 75—12**
- 162 建築基礎構造設計規準の基本的考え方と改訂事項の主要点 (1-6) 遠藤正明
- 163 建築用杭基礎の水平抵抗 (7-14) 吉見吉昭
- 164 地盤沈下とくい基礎 (15-27) 井上嘉信
- 165 基礎の不同沈下と許容沈下量 (28-33) 松浦 誠
- 166 地質調査および地盤改良 (34-39) 阪口 理
- 167 基礎の設計手順 (40-45) 北後 寿
- 168 規準改訂と行政指導 (46-52) 竹田雅男
- 169 新規規準による設計例・直接基礎 (53-61) 正木正広
- 170 新規規準による設計例・杭基礎 (1. 打込杭) (62-75)
- 171 新規規準による設計例・杭基礎 (2. 場所打RCコンクリート杭) (76-85) 佐藤広幸
- 基礎工 4—1 76—1. 2**
- 172 山止め設計施工指針作成について (2-5) 内山和夫
- 173 JASS等による山止め工事の計画と施工 (6-24) 山脇和二郎
- 174 JASS 4 による既製ぐい (コンクリートぐい・鋼ぐい) 地業工事 (25-37) 金谷祐二
- 175 JASS 4 による特殊コンクリートぐいおよびケーソン基礎地業工事 (38-52) 井上嘉信
- 176 JASS 4 による最近の地盤改良工事 (53-61) 免出 泰
- 177 設計例 (切ばりプレロード工法を用いた場合) (62-69) 野尻明美
- 178 新 JASS 3 及び 4 とその改訂点 (70-86) 編集部
- 179 発破を伴なう基礎工とその安全対策 (87-92) 松吉謙雄
- 180 地下鉄10号線岩本町付近の工事における安全管理 (93-99) 宮崎・鈴木
- 土木技術資料 17—12 75—12**
- 181 超過洪水への対応 (1-2) 豊島 修
- 182 すべり止舗装用エポキシ系樹脂の品質性状 (3-8) 藤田・坂本・吉村
- 183 シックリフト工法によるアスファルト安定処理路盤 (9-15) 南雲・小島・古閑
- 184 案内標識の改良に関する考察 (その1) —路線番号優先系統方式について (16-21) 栗本・梶・大友
- 185 雪害対策に関する国道18号線の道路気象調査(1)—上越市〜野尻湖間 (40 km) の気象特性について— (22-26) 青木・下村・石平
- 186 不連続点塩素処理による下水中のアンモニア除去実験 (27-32) 渡部春樹
- 187 河口部海岸線の変化特性 (33-37) 橋本 宏
- 188 高知水害調査報告 (速報) (38-47) 高知水害調査団
- 189 デュアルモード・パス・システム公開実験 (48-50) 水戸・光岡
- 土木技術資料 18—1 76—1**
- 190 河川の蛇行現象と河道計画 (3-8) 須賀亮三
- 191 栗島災害の水理的検討 (9-14) 橋本 宏
- 192 富士山大沢崩れ対策に関連したグラウト試験 (15-19) 服部泰英
- 193 地表面付近の大気拡散 (20-25) 小林・金安
- 194 道路標識等ポール基礎の設計方法 (26-31) 岡山・堀部
- 195 矢板式基礎の構造特性 (第3報) (32-37) 岡原美知夫
- 196 台風5号, 6号による高知・徳島の土砂災害 (38-47) 大久保駿, 外4名
- 農業土木学会誌 43—12 75—12**
- 197 パイプシステム水田 (バイネトロン地区) の用水量と水管理損失 (5-10) 佐藤・青木・赤司
- 198 急傾斜地に設けられたパイプライン中に発生するウォーターハンマー (11-20) 三野 徹
- 199 吉野川北岸農業水利事業の実施方式と水管理方式について (21-26) 天野景敏, 外4名
- 200 牧野の造成・管理と土壌物理性 (27-30) 佐藤・桜井
- 201 山間地帯農業の開発手法について/生産団地と農道を軸として (31-35) 長尾光博
- 202 侵食率・分散率 (36-36) 種田行男
- 203 施工計画・管理 (その1)/概説 (37-42) 白滝・浅井
- 204 中国大寨の土壌と農地の基本建設 (51-55) 近藤鳴雄
- 農業土木学会誌 44—1 76—1**
- 205 農業土木の明るい未来のために (2-4) 望月由三
- 206 農業土木に期待する 1. 食糧問題解決の先兵としての自覚を (5-6) 鈴木俊男
- 207 農業土木に期待する 2. 農業土木と土壌学 (7-8) 大村 収
- 208 農業土木に期待する 3. 古くて新しい農業土木的手法を (9-10) 宮脇 昭
- 209 農業土木に期待する 4. 米・農業土木 (11-12) 三神 茂
- 210 農業土木に期待する 5. 作物のための土木であるように (13-14) 川田信一郎
- 211 農業土木に期待する 6. われわれの領域とのより密接な交流を (15-16) 久保田正光
- 212 農業と農業土木を考える—新春放談—小松左京氏を囲んで (17-26)
- 213 私にとつての農業・農村・農地 (27-33)
- 214 GAMMA 線水分密度計 (34-) 雨宮 悠
- 215 施工計画・管理 (その2)—PERT— (35-42) 浅井喜代治
- 216 農村整備計画 (その1)—総説— (43-47) 北村・小出
- 農業土木学会誌 44—2 76—2**
- 217 道路開発と農業の対応について—東海北陸自動車道の場合— (5-10) 林・長尾
- 218 軟弱地盤改良強化工法について—横島干拓における施工

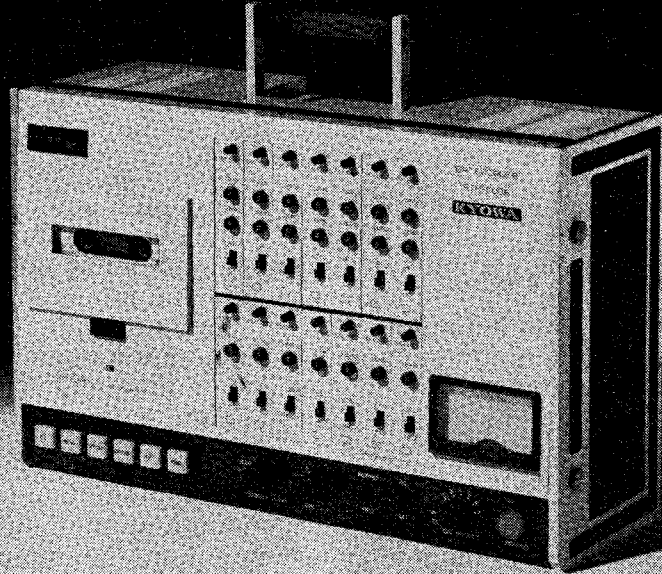
車載計測、現場計測、ME計測
性能、信頼性……据置型に匹敵
使いやすさ………抜群!!

7チャンネル
3スピード

RTP-500A

高性能カセット式データコーダ

特長 ■ 記録、再生7チャンネル / ■ 3速度、最大速度変換比1:10 / ■ 周波数帯域 DC~2.5kHz
■ SN比も高級機並み / ■ 最大3時間45分の記録が可能 / ■ ダイレクトレコーディングが可能



カセットテープの使い易さをそのままに、高精度メカニズムと、全面的に採用したIC混成集積回路化の電子機構により実現した7チャンネルの超小型、高性能です。テープ駆動方式は、RTP-100Aで定評のあるライトマス・フェスロックループサーボ方式に加えて高精度デュアルキャプスタン方式を採用していますから、テープの振動やテンションむらの影響によるワウフラッタ、速度の変動がほとんどなく、振動下の測定にも最適です。

テープ速度………9.5、4.75、0.95cm/sec
記録再生時間……3時間45分(0.95cm/sec)
周波数特性………DC~2.5kHz(0.5cm/sec)
入力………±0.5~10V(半固定)
出力………±1V、±20mA
SN比………44dB
電源………DC12V(AC100Vはパワーユニット)
寸法・重量………383×240×123mm、約9.5kg

●ノイズ補償を施しSN比を向上させたRTP-520Aも用意されています ●ひずみ測定器を内蔵したものも製作いたします

未来をひらく電子計測器メーカー

株式会社 共和電業

本社・工場 ● 182 東京都調布市調布ヶ丘3の5の1 電話=0424-87-2111(大代)
東京営業所 ● 105 東京都港区芝西久保明舟町19 電話=03-502-3551(大代)
大阪営業所 ● 540 大阪市東区森之宮東之町544(三双ビル) 電話=06-942-2661(代)
名古屋営業所 ● 464 名古屋市中種区田代町字瓶杵1の57(東山大木ビル) 電話=052-782-2521(代)
福岡営業所 ● 812 福岡市博多区博多駅東2の5の20(松永ビル) 電話=092-411-6744(代)
広島営業所 ● 730 広島市東白島町5の9(くまさビル) 電話=0822-21-9536
札幌営業所 ● 060 札幌市中央区南四条西9丁目(観光ビル) 電話=011-261-7629
水戸営業所 ● 310 水戸市上水戸2の6の5 電話=0292-25-1074

カタログ・お問合わせは、お近くの営業所へ

例一 (11-14) 頼政・堀田・古賀

219 家畜フン尿の液状搬送技術 (15-20) 小菅・河野

220 農地造成地における未端土留工 (PNC 板) の実施例 (21-27) 林・藤田

221 都市周辺地域における農業水利の現況とその対策—岡山市, 倉敷市周辺における農業水利に関する調査結果より— (28-34) 藤田則之

222 熱帯モンスーン地帯における水稲工 2 期作について—マレーシア・ムダカンガイ事業における事例— (35-39) 八島茂夫

223 農村生活圏 (40-40) 藤本信義

224 施工計画・管理 (その 3)—資源量を考慮した工程計画— (41-46) 浅井喜代治

225 第 9 回国際カンガイ排水会議に出席して (47-56) 山本・志村
JSSC 11—117 75—9

226 海洋構造物の現状と技術的問題点—固定式海洋プラットフォームについて— (5-9)

227 潮流下での基礎工事 1. 自己昇降式海洋作業台 2. 海洋土木工事 3. 南北備讃瀬戸大橋 (10-25)

228 デッキプレート JIS G 3352 (改正原案) (26-33)

229 大型溶接構造物の溶接割れに関する研究その 5. 多層 RRC 試験および Modified Cranfield 試験による多層溶接割れ感受性の評価 (34-38)

230 Munse 教授講演概要「最近の鋼構造継手における諸問題」 (39-40)
JSSC 11—118 75—10

231 建築の適正規模について (5-8)

232 鋼構造物の信頼性安全性について 1. 船体構造設計への信頼性 アプローチ (9-17)

233 鋼構造物の信頼性・安全性について 2. 構造物の安全性および危険度解析 (17-22)

234 鋼構造物の信頼性・安全性について 3. 鋼構造物の動的解析および設計 (22-27)

235 大型溶接構造物の溶接割れに関する研究 その 6 多層盛溶接の割れに及ぼす曲げ拘束度の影響 (29-36)
JSSC 11—119 76—11

236 中東石油の需給と価格問題 (9-15)
材 料 24—267 75—12

237 メスバウアー効果とその応用 (1083-1091) 那須, ゴンザー

238 疲労寿命推定のためのコンピュータ処理 (1092-1095) 岩谷・大澤・関

239 混合アルカリ珪酸ガラス中のクロムの分光特性 (1096-1097) 尾坂・功刀

240 要素分布モデルによる繰返しせん断応力せん断ひずみの解析 (1098-1103) 井上・中川

241 繰返し曲げと繰返しねじりにおける応力-ひずみ関係の相関性 (1104-1107) 井上・中川

242 SM 41 A の高温疲労に及ぼす温度変動の影響 (1108-1113) 清水・望月・藤満

243 クリープ-疲労相互作用のフラクトグラフィ (1114-1120) 小寺・沢・岩田

244 線形破壊力学のクリープ条件下におけるき裂伝ばへの適用 (1121-1126) 小寺沢良一

245 極低炭素鋼の引張遷移挙動に及ぼす変形速度の影響について (1127-1133) 坂巻・稲田

246 低炭素鋼の上降伏点の応力分布依存性に関する統計的取り扱い (1134-1139) 坂田・青木・川島

247 Al-Zn-Mg 合金の腐食疲労におけるカソード防食効果 (1140-1146) 遠藤・駒井・渡瀬

248 たばこ刻の加熱乾燥諸条件が膨こう性に与える効果 (1147-1152) 齋藤・安陪・高橋

249 混合材料 (I) (1153-1157) 藤井太一
材 料 25—268 76—1

250 側傾法による X 線応力測定における X 線入射方法の測定値に及ぼす影響 (1-5) 吉岡靖夫

251 巨大構造物の X 線応力測定について (6-12) 蒲地一義

252 爆着オーステナイトステンレス・クラッド鋼の X 線残留応力測定 (13-19) 小田・宮川

253 新型側傾法用装置による粗大結晶試料の X 線応力測定 (20-26) 川辺泰嗣, 外 3 名

254 鋼の焼もどし過程における弾性定数ならびに塑性変形挙動の X 線回折による研究 (27-32) 平・白砂

255 鋭敏化オーステナイト・ステンレス鋼の応力腐食割れ (塑性誘起相変態の効果) (33-37) 加藤 亨, 外 4 名

256 鉄系粉末焼結体のろう接強度に関する研究 (38-44) 未沢芳文

257 Zn-Al 系共析超塑性合金の低温ぜい化現象 (45-52) 本橋嘉信

258 2 種の鋼における確率疲労特性のチャージ間比較 (53-60) 西島 敏

259 100 kg/mm² 級ステンレス鋼の疲労強度 (61-68) 河合・鯉淵

260 曲げを受けるクランク軸の応力状況と疲労強度の評価 (69-75) 青山・山田・吉川

261 重畳波形下での高温強度 (76-82) 中村・堀川

262 純アルミニウム冷間圧延材の疲労挙動異方性 (83-91) 佐賀・林

263 焼入焼もどし炭素鋼における疲労き裂の開口挙動 (92-98) 平・山崎・田中

264 3% Si 鉄における疲労き裂の不安定化と疲労破壊じん性 (99-105) 安藤・小倉

265 炭素鋼の衝撃引張疲労破面の様相 (106-111) 近藤・本田・井口

266 耐熱合金 Inconel X-750 の X 線回折パターンによる破面観察 (112-119) 後藤・岩本

267 複合材料 (II) 複合技術 (120-128) 藤井太一
コンクリート工学 13—11 75—11

268 ひびわれ制御のための誘発目地 (1-8) 中西正俊

269 建築マスコンクリートの施工について (9-20) 千田 実

270 付着および定着 (21-32) 岡村 甫

271 耐震構造のあゆみ (33-41) 田治米辰雄

272 鉄筋コンクリート・プレストレストコンクリート設計計算入門/19 10. 構造物の設計計算 10.2 擁壁 (その 2) (60-72) 渡辺 明

273 建築工事のマスコンクリート雑感 (80-81) 奥島正一

274 巨大支承下部へのグラウト充填工法の改良について (109-119) 池田・保坂

275 新しく制定されたコンクリート関係 JIS の紹介 (82-94) 鎌田矩夫
コンクリート工学 13—12 75—12

276 大地震による建築物の被害とその教訓 (1-5) 梅村 魁

277 国内地震 (1) 新潟地震 (その 1 上部構造) (6-10) 黒正清

土木計画便覧

米谷栄二 編 <A5> 12,500円

最も現代的かつ実用的なハンドブックを意図して編集されたもので、土木計画の全般にわたって基本的な問題と最新の研究成果をまとめ、必要な統計・データ・法規などの資料を豊富に収録。

<内容> 序論 土木計画とその分類/土木事業と社会資本形成/土木計画の形成/土木計画における評価/不確実性と決定問題 総合計画 国土総合開発計画/地域計画/都市計画 各論 水管理計画/自動車ターミナル計画/観光レクリエーション計画/環境破壊防止計画/施工計画/公共事業計画論 計画手法概説/土木計画の調査手法/土木計画の予測手法/土木計画の現象分析手法/土木計画の最適化手法/土木計画の費用・効果分析 付録 土木計画に関連する法令の概要/わが国の総合開発計画/大ロンドン計画およびソ連の第9次5か年計画/統計資料等/統計数値表

土木設計便覧 改訂3版

編集委員長 鶴岡鶴吉 <A5> 11,000円

土木工学全般にわたる設計のための手引書として、理論から設計例にいたる内容を極めて具体的に解説。設計技術者および現場技術者必携の書。

土木計測便覧

京都大学土木会編 <A5> 7,000円

新しい計測技術に関する便覧の編集を意図したもので、土木工学に必要な測定技術のすべてを分かりやすくまとめ、大学における教科書、参考書として、また現場における手引きとして使いやすい構成となっています。

土木計画とOR

石原藤次郎校閲/吉川和広著 <B5> 4,000円

土木計画の問題を計画システムとして科学的に追求し、その計画手法としてオペレーションズ・リサーチの有用性を実証、土木計画の学問的体系をはかる画期的な著。

現代土木工学

② 土木解析学

椎貝博美著 <A5> 3,300円

水理学・土質力学・構造力学等に関する解析の基本事項をまとめたもので、数式は基本から展開し土木解析に必要な力学の基礎知識を確実に理解できる内容です。

③ 土木総合計画論

八十島義之助編 <A5> 2,800円

わが国の経済社会計画や国土計画等の総合計画における土木計画の位置、役割りを具体例を挙げて究明。

⑤ 土木構造設計

松本嘉司著 <A5> 3,600円

土木構造設計の考え方と考慮すべき基本事項を記述し、構造形式選定の考え方、安全性・使用性にも言及。

⑥ 土木施工管理

河野彰編 <A5> 2,800円

土木工事施工の基礎から見積・入札・保険・法規、安全、品質・工程管理・施工者能力開発までを系統的に論述。

ギャラガー

有限要素解析の基礎

川井忠彦監訳 <A5> 4,600円

マトリックス構造解析の1手法である有限要素法の基礎となる理論的原理の展開を変分法に則って行なったもの。

鋼橋設計編 I・II

小西一郎編 <B5> I) 23,000円 II) 25,000円

橋梁工学の権威者が内外の鋼橋に関する最新かつ詳細なデータ、豊富な図表を駆使して鋼橋の理論から設計までを網羅・解説した労作。

●続刊……………基礎編

水質工学 <全2巻>

合田健編著 <A5> 基礎編2,700円/応用編3,600円

水質に関する基礎知識とその工学的意義を詳しく述べるもので、処理技術やシステムのシミュレーション解析などに応用できる素地が得られるよう企図している。

〔〒103〕東京都中央区日本橋2-3-10 ☎(03)272-7211 振替東京7-5番

M丸善

- 治
- 278 国内地震 (1) 新潟地震 (その2 下部構造) (11-15) 岸田英明
- 279 国内地震 (2) 十勝沖地震 (その1 東北) (16-26) 青山博之
- 280 国内地震 (2) 十勝沖地震 (その2 北海道) (27-31) 柴田拓二
- 281 国内地震 (3) 大分地震 (32-41) 富井政英
- 282 国外地震 (1) ロスアンゼルス地震 (42-47) 大沢・大森
- 283 国外地震 (2) ニカラグワーマナグワ地震 (48-56) 岡本 伸
- 284 既存建物の安全性 (1) わが国における既存公共建物の耐震診断 (57-59) 広沢雅也
- 285 既存建物の安全性 (2) わが国における既存民間建物の耐震安全性 (60-62) 宮沢正躬
- 286 既存建物の安全性 (3) 低層鉄筋コンクリート実在建築物の耐震性の評価法 (63-69) 岡田恒男
- 287 これからの耐震設計 (70-72) 青山博之
- 288 鉄筋コンクリート・プレストレストコンクリート設計計算入門/20 10. 構造物の設計計算 10.3 基礎 (土木)/1 (87-96) 大内・音川
コンクリート工学 14-1 76-1
- 289 建築におけるコンクリート施工の合理化について (15-23) 島田専右
- 290 セメントの水和と硬化 (24-34) 近藤・大門・後藤
- 291 コンクリートの仕上がりについて (35-43) 大塚・今村
- 292 水圧鉄管路における膨張コンクリートの効果について (44-53) 錦織達郎
- 293 鉄筋コンクリート構造の耐震力向上のために (54-62) 武藤清
- 294 鉄筋コンクリート・プレストレストコンクリート設計計算入門/21 10. 構造物の設計計算 10.3 基礎 (土木)/2 (77-83) 大内・音川
- 295 楽しく読める鉄筋コンクリートのはなし/第1回 1. プロローグ 1.1 コンクリートのできているもの (85-90) 小村敏
- 296 第3回原子炉工学の構造力学に関する国際会議に出席して (91-94) 井元勝慶
- 297 第12回日本道路会議の概要 (95-96) 大内雅博
- 298 新しく制定されたコンクリート関係 JIS の紹介 (97-103) 鎌田矩夫
プレストレスト コンクリート 17-5 75-9, 10
- 299 岩鼻PCTラスの設計と施工 (3) (試験編) (1-14) 町田富士夫, 外3名
- 300 主桁の曲げ剛性およびねじり剛性を考慮した横桁のプレストレストの計算法 (16-21) 猪又 稔
- 301 雲見崩落防止工事の設計施工 (22-32) 荻原茂樹, 外4名
- 302 第2, 第3阿武隈川橋梁の設計施工について (1) (34-42) 西田正之, 外3名
- 303 FIP 報告—特殊コンクリートに関する委員会について (44-45) 長滝重義
- 304 プレストレストコンクリート構造計算入門 (5) 断面設計 (52-60) 長倉四郎
プレストレスト コンクリート 17-6 75-11, 12
- 305 第2, 第3阿武隈川橋梁の設計施工について (2) (1-15) 西田正之, 外3名
- 306 東北新幹線名取川橋梁の設計と施工について (16-27) 高木・佐原
- 307 イランでのPC栈橋工事 (28-34) 佐藤・稲葉
- 308 多径間プレストレスト コンクリート連続桁橋に関する二, 三の検討 (36-46) 秋元浪輔
- 309 嘉手納貯水槽の設計および施工について (48-57) 森本直孝, 外3名
- 310 プレストレスト コンクリート構造計算入門 (6) 設計・施工 (62-69) 町田重美
セメント コンクリート 345 75-11
- 311 コンクリートの凍害とその防止について (2-11) 洪 悦郎
- 312 各種セメントの塩化物抵抗性 (12-12) 鈴木諭一, 外
- 313 養生程度がコンクリートの耐久性に与える影響 (22-29) 前川静男, 外
- 314 鋼繊維補強コンクリートとその適用 (30-34) 小林一輔
- 315 実橋におけるコンクリート中の塩分含有量に関する2, 3の調査例 (35-39) 中島泰一, 外
- 316 ヨーロッパのあじ (40-46) 長滝重義
- 317 プラスターおよび薄塗塗り仕上げ (50-51) 堀島寿平
セメント コンクリート 346 75-12
- 318 セメントコンクリート技術の最近の動向 (2-10) 山田順治
- 319 高炉スラグを用いた高強度コンクリートの2, 3の特性 (11-18) 大沢文彦, 外
- 320 人工軽量骨材コンクリートの収縮ひびわれ—鉄筋で内部拘束したコンクリートの場合— (19-27) 柿崎正義
- 321 建築材料の乾燥収縮機構 (30-40) 岸谷孝一
- 322 JASS 15「左官工事標準仕様書」改訂の要点—セメントモルタル関係— (41-48) 上村克郎
- 323 No. 26 仕上げ工法のいろいろ—その7—吹付け仕上げ (54-55) 橋本博和
セメント コンクリート 347 76-1
- 324 巢離れの季節 (4-8) 樋口芳朗
- 325 超硬セメントコンクリートの新旧打継目に関する研究 (9-15) 吉田弥智, 外
- 326 コンクリート破砕物の再利用 (その1) —コンクリート破砕骨材の性状— (20-28) 笠井芳夫, 外
- 327 彦島大橋のコンクリート工事 (29-36) 赤間 充, 外
- 328 フランス留学記 (37-44) 中山紀男
溶接技術 23-12 75-12
- 329 住宅産業における溶接と問題点 (7-14) 益本 功, 外
- 330 PC住宅建造のための溶接管理基準について (15-17) 助川哲朗
- 331 鉄骨系プレハブと溶接 (18-22) 坂入宏治
- 332 鉄骨系プレハブ部材の溶接 (23-26) 志和俊雄
- 333 鉄骨の溶接と品質保証 (27-31) 亀井俊郎, 外
- 334 建築用鉄骨工事における溶接技術管理 (32-38) 大森仁平, 外
- 335 住宅産業におけるプラスチック管の接続 (39-46) 宮崎義隆
- 336 PC工法 (量産住宅) アーク溶接技量検定における試験方法および判定基準 (WES-8105) (49-50) 日本溶接協会
- 337 <冶金学ティータム>学術用語茶話 (II) (58-59) 大西 巖
- 338 転換期を迎えた低圧式ガス切断器 (63-67) 早川栄太郎
- 339 小池酸素工業 (株) 小池義夫社長にきく (68-69) 編集部
- 340 川崎重工・神戸造船所にみる切断の安全対策 (70-70) 編集部
- 341 溶接における電力節減とその対策 (71-73)
- 342 鋼溶接部の超音波探傷試験方法及び試験結果の等級分類方法 (74-88) 日本工業規格
溶接技術 24-1 76-1

薬液注入工法の実際

坪井直道著 A5判 ¥2,900
都市再開発工事における補助工法として広く注目されている注入工法について、暫定指針による規制、注入材の性質、注入の効果と土性値の変化、および工事計画と施工・管理などを、実務者の立場から詳説。

I. 総説 II. 注入材の種類とその性質 III. 効果とその実測例 IV. 計画 V. 施工・管理と積算 付、高圧噴流方式による注入工法、ジェットグラウト工法・他

わかりやすいセメントとコンクリートの知識

山田順治・有泉 昌共編 A5判 ¥3,200
セメントが化学作用によって造られ、水との化学反応によって硬化するものでありながら、これらの化学現象をわかりやすく解説する本は今までになかった。本書は、建設業務に従事する技術者向けにセメントとコンクリートの化学現象をできるだけ平易に解説し、コンクリート構造物をよりよく施工し、補修するための基礎となる考え方を提供する。

交通調査マニュアル

嶋 克郎監修／秋山尚夫・有菌 卓他著 A5判 ¥3,000
基礎的な調査の手法を具体的に解説し、基礎教育用・実務用資料として編集。
序論（交通調査の必要性の背景・概観・定義など）
交通流調査／交通容量調査／駐車調査／特殊調査——輸送手段の利用実態調査／OD調査／交通事故／歩行者、自転車に関する調査／交通公害／参考文献
*学生、関係官公庁、企業（コンサルタント他）向き

道路の線形と環境設計

H・ローレンツ／中村英夫・中村良夫訳編
●内容見本送呈 B5判 ¥15,000
道路の設計を中心とする幾何構造設計論と、植栽を中心とする環境保全設計論とからなり、両者のいずれも「景観＝環境」という観点をとっている。計画からディテールまでの具体的な設計資料集、道路景観工学の集大成として待望の書である。
線形の幾何学／自動車の走行力学／道路の視覚…他

道路維持修繕ハンドブック

藤原武監修／大字照一・堀泰晴・松野一博・吉田博一編著
●内容見本送呈 A5判 ¥15,000
舗装、橋梁から道路標識、街路樹、除雪にいたるまで、広範な維持修繕技術を800個の図表と300に及ぶ写真をそう入して解説。現場作業にすぐ役立つ実務内容を網羅した集大成として、関係官公庁、コンサルタント、建設業者必携の書といえよう。
参考資料——道路工事執行要領、各種基準・統計類

土質動力学の基礎

＝地震時における力学的挙動＝
石原研而著 A5判 ¥3,200
土の動的力学を、強度を中心にした破壊現象を主眼として、橋梁・ダム基礎・盛土などの設計・施工者、土木設計者一般、およびコンサルタントを対象に書かれた書である。土の動的問題の特色／土の動的変形特性の表現方法、質点系の振動理論／多孔質弾性体の波動理論／波動理論／動的試験法…他

全訂新版 土木工事ののり面保護工

新田伸三・小橋澄治著 A5判 予価 ¥3,000
近年、景観保護・環境保全に対する意識が高まり、破壊される自然を早期に修復する方法を慎重に検討する必要がある。本書では、緑化工の問題、中でものり面緑化の問題にしばってまとめている。
のり面保護工の意義と効用／のり面保護工の発達／のり面の災害とその対策／のり面と環境保全／のり面保護工の計画／のり面草／植生工の他の材料…他

土質工学基礎叢書〈全10巻〉

監修・最上武雄 ●内容見本送呈

②透 水 — 設計へのアプローチ
久保田敬一・河野伊一郎・宇野尚雄著 ¥2,500
透水の理論／透水現象の解法／試験と調査／地下水位低下工法／一般堤体の透水／掘削の安定設計…他

⑦土 圧
松尾稔・富永真生著 ¥2,400 土圧の基礎理論／土圧の実態と設計法／土圧の理論と実際

⑨斜面安定
小橋澄治著 ¥1,800 崩壊現象の理解／斜面の安定度の子測について／斜面の安定解析／斜面災害防止策

⑩土の締固め
河上房義・柳沢栄司著 ¥1,900 概説／Proctorの締固めの原理／土の締固め特性／施工の管理基準…他
続刊

①土の工学的な判別分類とその利用 三木・斉藤著
③土の圧縮と圧密 網千・吉国著
④粘性土のセン断 中瀬・小林著
⑤土の応力伝播 木村 孟著
⑥土の支持力 山口柏樹著
⑦土の動的性質 石原・龍岡著

*小社の本は注文制を主にしていますので、万一店頭がないときは書店にご注文下さい。

明日を築く知性と技術 ●鹿島出版会 ●東京都港区赤坂6-5-13 ●tel 582 2251 ●振替東京6 180883 ●図書目録ご希望の方は営業部までお申し込み下さい

- 343 座談会 わが国の溶接研究の現状と将来 (15-22)
- 344 将来の溶接研究者へ (23-25) 岡田 実
- 345 わが国の溶接研究の現状と将来 (26-32) 稲垣道夫
- 346 鉄鋼メーカーにおける溶接研究の現状と動向 (33-36) 堀籠健男
- 347 ヨーロッパにおける溶接研究システム (37-40) 益本 功
- 348 アメリカにおける溶接研究のシステムと現状 (41-44) 増淵興一, 外
- 349 大学・官公立研究所における溶接研究の現状—アンケート調査による— (45-53)
- 350 NC スポット溶接で省力化—鉄道車両の溶接— (54-61) 松本 淳, 外
- 351 健康と安全についての責任 (63-66) R. Murray
- 352 造船における溶接の見方, 考え方について (68-70) 中村春雄
- 353 低温用アルミ配管の溶接 (71-74) 福原彦三, 外
- 354 Y型アンカーのアークスタッド溶接について (75-79) 安堂英夫
- 355 溶接における大気汚染 (80-83) J. Morton, 外
- 356 現場の質問 SR 後の母材表面キズはどうすればよいか (84-84) 山崎康久
- 357 プラズマ分科の活動状況 (85-90) 西口公之, 外
- 溶接技術 24—2 76—2
- 358 水中における爆発圧接 (23-26) 加賀清一, 外
- 359 耐火性フラックス・ダブ (ノンタブ・フラックス) の試作ならびにその適用 (27-31) 松井繁朋
- 360 極厚H形鋼柱一柱の現場自動溶接工法 (32-38) 西口芳弘, 外
- 361 ディスクホイールの大電流高速溶接について (39-44) 横山享
- 362 溶接作業の改善にあたる“アタールガス” (45-49) 田中重喜
- 363 溶接設計 (1) (51-56) 太田省三郎
- 364 抵抗スポット溶接共同研究報告 (第1報 表面状況の影響) (57-67) 車両部会
- 橋 梁 11—11 75—11
- 365 高梁川河口「水島大橋」の設計と施工について (2-10) 秋久定之
- 366 「八戸大橋」の設計と施工について (11-16) 藤谷・須藤・福島
- 367 片山大橋の設計と施工について (17-22) 秋久定之
- 368 高砂大橋の設計と施工について (23-28) 湯谷京二
- 369 波瀬の浦大橋の設計と施工について (29-39) 米村・綾部
- 370 東京湾環状道路と羽田空港B滑走路の交差における応力測定と今後の問題点 (41-53) 浅間・沼沢・戸部
- 371 沖縄 CTS シーパース建設工事について (54-57) 伊藤・渡辺
- 372 海洋土木に伴う海底地盤地質の調査・工法と事例⑤ (58-59) 松石秀之
- 373 PC橋の新工法「SSY 式押し装置」(60-63) 佐藤浩一
- 橋 梁 11—12 75—12
- 374 宿院高架橋の設計と施工について (第二版和国道) (2-12) 田中・西島・坂手
- 375 井田川橋の設計と施工について (北陸自動車道) (13-20) 小川・平松・窪
- 376 熊谷大橋の設計と施工について (熊谷～東松山有料道路) (21-26) 田部井芳郎
- 377 名取川橋梁の設計施工について (東北新幹線) (27-38) 佐原俊樹
- 378 第4中山川橋梁の設計と施工の概要 (39-46) 鶴井 宏
- 379 鉄筋コンクリートの高い橋脚や塔 (47-57) 福島啓
- 380 九州の石橋 (58-62) 山口祐造
- 橋 梁 12—1 76—1
- 381 既設道路橋の静および動的補強の一方法 (4-12) 小堀・三上
- 382 道路交通による騒音と大気汚染の事前評価 (13-28) 大家・菅原
- 383 新愛宕橋の設計と施工について—都市計画道路・元寺小路郡山線— (29-37) 安倍理夫
- 384 海域水質アセスメントの方法と問題点 (38-41) 山辺功二
- 385 東京湾中央防波堤外側護岸工事について—首都の廃棄物処理と「第四夢の島」埋立工事の概要— (42-49) 菅野辰男
- 386 押し出し工法の研究と開発 (その1) (50-56) 鈴木・永江・黒葛原
- 387 開発と環境保全 (57-61) 木村・鈴木・松原
- 橋梁と基礎 9—12 75—12
- 388 日本道路公団鋼橋塗装基準の要旨 (1-8) 日本道路公団技術部構造設計課
- 389 橋梁構造の最適設計 (4) (9-15) 山田善一
- 390 大型ケーソンの設計施工上の問題点 (15-16/25) 武藤肇彦
- 391 ケーソンおよび脚付きケーソン基礎の模型振動実験 (26-31) 林・友沢・村上
- 392 高橋脚を有する2径間連続ゲタ橋の耐震設計—一般国道157号線手取川ダム関連付替え道路3号橋の耐震設計— (35,42-48) 広瀬富哉, 外3名
- 393 浅瀬石川洪水と橋梁—S50.8.20 集中豪雨における浅瀬石川にかかる橋梁の被災状況— (43-48) 大塚・宮川
- 橋梁と基礎 10—1 76—1
- 394 海洋における橋梁下部構造の設計基準—主として本四連絡橋について— (1-6) 林 宣照
- 395 橋梁構造の最適設計 (6) (7-11) 山田善一
- 396 第二摩耶大橋の設計と架設 (12-17) 脇・池田
- 397 明石海峡の現地洗掘調査 (18-23) 岡田・山田
- 398 交通渋滞と道路工事 (24-26) 菊地洋一
- 399 都市内河川にかかる中島新橋の設計—広幅員曲線床版橋— (27-33) 磯部節彦, 外3名
- 400 連続地中壁工法を用いた基礎工 (34-38) 榎本 守
- 401 鋼・コンクリート合成構造の現況報告 (上) —アメリカ土木学会の報告書の中から— (39-42) 建設コンサルタント協会大阪支部C-S委員会
- 402 米國橋梁技術調査団報告 (1) (43-44) 大塚昭夫
- 橋梁と基礎 10—2 76—2
- 403 河川管理施設等構造令 (第9次案) における橋の構造基準 (1-8) 岩井国臣
- 404 橋梁構造の最適設計 (最終回) (9-14) 山田善一
- 405 六方大橋 (仮称) の設計と施工 (15-23) 小堀博康
- 406 旧鬼怒川橋の拡幅補強計画—トラスとケタの複合格子構造 (24-29) 竹下・清水
- 407 雪害地帯における橋梁の雪対策 (34-37) 久保 陽, 外3名
- 408 ヒンジアーチにおける側タイの効果 (38-43) 本州四国連絡橋公団第三建設局建設部
- 409 鋼・コンクリート合成構造の現況報告 (下) —アメリカ土木学会の報告書の中から— (44-47) 建設コンサルタント協会大阪支部S-C委員会
- 河 川 353 75—12

新製品、土木計算機。

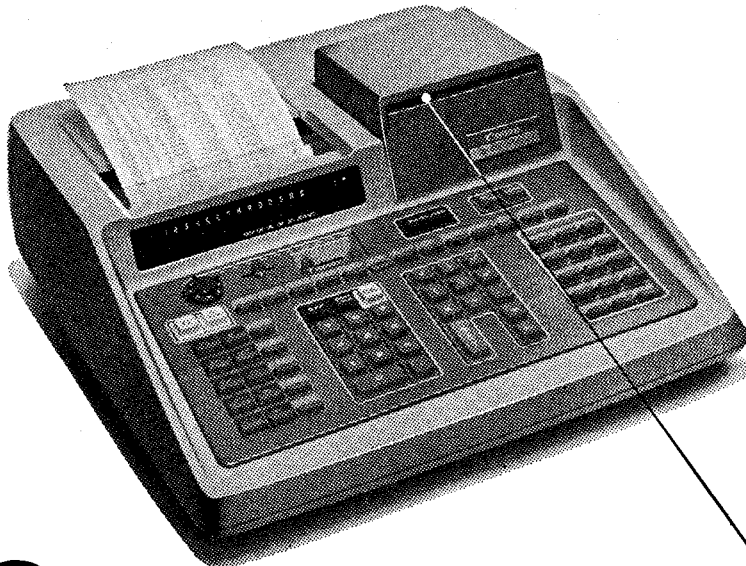
新しい型のパーソナルコンピュータが誕生しました。右下にご覧のように、各種のプログラムが用意されており、それをセットするだけで土木関係にまつわる計算はすべて片づいてしまうわけです。タイプは3種類。アプリケーションの規模に応じた製品がそろっています。SX-110は磁気カード式パーソナルコンピュータ。SX-300はSX-110に周辺装置がつけられるシステム化されたタイプ。磁気カートリッジを使います。SX-500はミニコンピュータといってもよい高級機種。いずれも土木計算以外にも幅広く使えます。詳しくはカタログをDG係までご請求下さい。お問合せは、お近くのキヤノンまでお電話で。

次から次へと土木計算を片づけ、答を作表します。

土木計算のプログラム例

```

デリケン コンクリート インケイ タンクン
マケ" オウリヨクト" ノ ケイサン
INPUT
40.000 RO
35.000 RS
12.000 AS
60.050 M
5.030 N
15.000 YANG.C.R
OUTPUT
0.002 P
1.845 K
1.494 C
0.002 SIGMA-C
0.001 SIGMA-S
    
```



土木計算のプログラム例

- ☆鉄筋コンクリート円形断面応力度計算
- ☆軸方向圧縮力の応力度計算
- ☆単・複鉄筋長方形断面応力度計算
- ☆擁壁の自重及び重心位置
- ☆雨量確率計算(岩井法)
- ☆圧密試験計算
- ☆クーロン土圧計算
- ☆不等流逐次計算
- ☆流出量計算
- ☆トラバース計算
- ☆交点座標計算
- ☆面積計算
- ☆偏心補正計算

☆写真はSX-300。

ここへプログラムカートリッジを入れます。
プリントアウトは左上。場合によってはグラフ化して印字もできます。

Canon

パーソナルコンピュータSXシリーズ

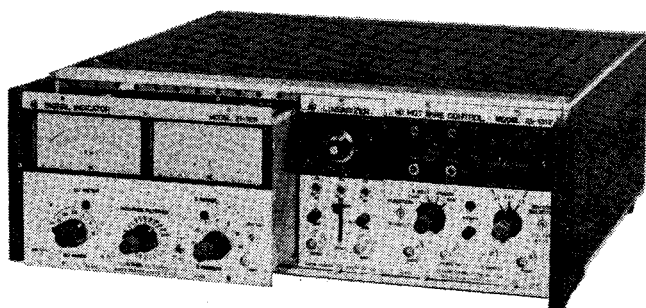
SX-110 ￥550,000 (基本タイプ)
 SX-300 ￥850,000 (基本タイプ)
 SX-500 ￥1,500,000 (基本タイプ)

●プログラムによっては基本タイプに容量増設(オプション)をする必要があります。又、機種によってできるものと、できないものがあります。詳しいことはお問合せください。

キヤノン販売株式会社 ●本社〒108東京都港区三田3-11-28 事務用計算機営業部(03)455-9710
 ●大阪〒541 大阪市東区瓦町5-39 大阪化繊ビル(06)202-6761 札幌(011)231-1313 仙台(022)66-4151 水戸(0292)24-8934 新潟(0252)43-2111
 長野(0262)27-6960 前橋(0272)24-5033 大宮(0486)41-9122 千葉(0472)43-9648 横浜(045)211-1691 静岡(0542)52-7148 名古屋(052)851-4551
 金沢(0762)32-1711 京都(075)241-0216 岡山(0862)22-8228 高松(0878)51-7121 広島(0822)44-4615 福岡(092)411-2394

- 410 公共事業の住民への対応—河川講習会特別講演要旨— (5-13) 堀川直義
- 411 石狩川の水害—水害状況と治水計画の課題— (14-19) 山崎甲
- 412 河川管理瑕疵について (20-30) 大堀一平
- 413 外国の水法と水管理 (4) フランス水法規定例集 (下) (31-35) 三本木健治
- 414 第9回欧州河川事業調査団報告⑥ 西ドイツ (36-45) 石川・松岡
- 415 第9回欧州河川事業調査団報告⑦ オランダのデルタプランとユーロポート (46-52) 西田頼弘
- 416 応用水文学入門講座, 第8回 (54-64) 岡本芳美
- 417 河川管理ゼミナール XXXIX (65-68) 建設省河川局水政課
- 418 浪速と河内平野 (68-71) 大阪府土木部河川課
河 川 354 76—1
- 419 河川行政への苦言・提言 (9-19) 富山・梶野・渡辺
- 420 未来学の潮流—河川講習会特別講演要旨— (20-30) 増田米二
- 421 水と生活 (31-37) 建設省河川局水利調整室
- 422 未来のための水政策(I)—アメリカ国家水委員会の提言— (38-44) 古賀一成
- 423 第9回欧州河川事業調査団報告⑧ バリを尋ねて (45-47) 手柴・平山
- 424 河川管理ゼミナール XXXX (48-49) 建設省河川局水政課
- 425 応用水文学入門講座—第9回— (50-61) 岡本芳美
水 利 学 19—6 76—1
- 426 農業水利合理化と農業水利権 (1-15) 小林三衛
- 427 流域源流帯における水収支の動態 (16-37) 山口伊佐夫
- 428 水域における混合問題への水理学的アプローチ (II) (38-55) 玉井信行
- 429 山地災害 (V) (56-74) 宮村 忠
- 430 下水かんがいの提案 (75-19) 谷本修志
水 温 の 研 究 19—5 76—1
- 431 躍層形成理論の周辺 (7-26) 川原琢磨
- 432 大栗川, 乞田川の水質 (電気伝導度) について (27-31) 石橋豊
- 433 アシカとジュゴン (32-36) 千葉徳爾
発 電 水 力 133 75—11
- 434 雑感「水不足」(1-3) 内村三郎
- 435 新柳瀬発電所の計画について (4-8) 釜范・高久
- 436 広瀬ダム設計と施工について (9-22) 水野明夫
- 437 奥多々良木発電所水路トンネルのグラウチング工事について (23-34) 牛田・足立・白田
- 438 祐延ダムの非常駐管理について (35-37) 稲松敏夫
- 439 発電所の水産環境 (1) (38-47) 中谷 茂
- 440 大雪発電所の緑化工事について (48-62, 80) 網島 俊
- 441 混和材料 (4) (63-67) 奥田 徹
- 442 発電水力と私 (4) (74-76) 久保田 豊
- 443 猪苗代湖利水の変遷 (77-80) 灘谷・梅原
- 444 矢作川の発電所 (81-84) 森川徳長
発 電 水 力 140 76—1
- 445 アスファルト・コンクリートを内部しゃ水材として用いたフィルダムの安全性に関する検討 (19-31) 原田・坪田
- 446 浜岡原子力発電所2号機取水塔工事報告 (32-39) 佐竹・杉本・菅谷
- 447 ポンプトリップに特に強い制気型サージタンク (40-46) 高畑政信
- 448 発電所と水産環境 (2) (47-55) 中谷 茂
- 449 コンクリート材料 (5) (56-61) 奥田 徹
- 450 手取川第一発電所および手取川第二, 第三発電所建設所だより (72-76) 電源開発 (株), 北陸電力 (株)
ダ ム 日 本 374 75—12
- 451 ロックフィルダムのコアのクラックについて (9-25) 菊池昭
- 452 ケルンブライン・アーチ・ダムのマス・コンクリート配合設計 (27-37) R. ヴィドマン
- 453 フィルダム実測データの材料試験, 設計, 施工面へのフィードバック (I) (38-46) 原田次夫
- 454 四国の新水源地を行く (47-48)
- 455 両筑の水ガメ寺内ダム (49-52)
- 456 タルベラダムプロジェクト (II) (53-60)
ダ ム 日 本 375 76—1
- 457 世界の大ダムの現状 (19-25) T.W. Mermel
- 458 リガ水力発電所の建設 (26-29) サンドマスキー, G.B
- 459 サヤン・シェウシェンスカヤ水力発電所 (30-31)
- 460 タルベラダムプロジェクト (III) (32-38)
- 461 遠部ダム建設における弱層部の処理について (39-51) 其田・米内山
- 462 品質管理の自動化, FM 管理装置の開発 (53-65) 丹野光正
- 463 アスファルト・ロックフィルダムの応力変形解析について (71-83) 中島・仲野
- 464 フィルダム実測データの材料試験, 設計, 施工面へのフィードバック (II) (85-93) 原田次夫
ダ ム 日 本 376 76—2
- 465 岩屋ダムの計画と施工について (13-28) 渡辺一郎
- 466 極寒地におけるダム建設の現状—永久凍土を基礎とするダムの温度条件 (33-35) Odintsov A.K., 外
- 467 早期凍結がコンクリートの物理的, 機械的性質に与える影響 (36-41) S.A. Mironov, 外
- 468 モーター・コロンプス社による最近のダム事業計画 (43-50) N.J. シュニッター, 外
- 469 人工誘発地震に関する第1回国際シンポジウムに出席して (57-66) 岡本舜三
水 門 鉄 管 95 75—11
- 470 手取川第二ならびに第三発電所の計画について (1-9) 岸上重一
- 471 水圧鉄管用球形分岐について (3) (10-21) 堀川・日下部・林
- 472 奥多々良木発電所水圧鉄管工事 (1) (22-32) 甲村・河瀬・小椋
- 473 オイルレス・ベアリング講座 (2) (33-46) 笠原又一
港 湾 荷 役 20—6 75—11
- 474 浜松内陸コンテナ基地 (603-608) 原 宏
- 475 神戸港湾教育訓練センターについて (609-612) 宮本義一
- 476 オーストラリア港湾労働組合について (613-617) 田中米春
- 477 第12回 ICHCA 総会並びに技術会議に出席して (618-622) 工藤秀雄
- 478 港湾紹介—小松島港— (623-628) 田中正次
港 湾 荷 役 21—1 76—1
- 479 輸入青果物倉庫のレイアウト (104-109) 奥野光俊
- 480 冷蔵倉庫用・自動荷役保管システム (110-112) 小林泰爾
- 481 危険物用タンクの爆発事故と物的要因 (113-120) 危険物タ

空気、ガス、液体……の 平均流、乱流測定に。



平均流速の測定から乱流強度の測定、2方向性乱流成分の測定、相関係数の測定など、幅広い測定領域をカバーします。プローブと組み合わせ、流速—電圧の変換器の働きをコントロールユニット、不必要な信号を除去するハイパス・ロウパスフィルタ内蔵の指示計ユニット、

係数が自由に選べるリニアライザユニット、最大6コのプローブを接続することができるプローブセレクトユニット、温度補償ユニット、演算器ユニット、電源・ケースユニットなど、それぞれユニットの組み合わせで使用できるようにしています。

標準仕様 測定対象 液体流・気体流の平均流速・乱流値・温度変化
 周波数応答 50KHz(5 μ φタングステンプローブ使用時)
 雑音 1KHz帯域幅:0.1mV 'R.M.S
 ブリッジ比 1:1、1:20、1:100
 出力電圧 20V (MAX)

その他 リニアライザ、シグナルインディケータ、電源・ケース、コントロール、の各ユニットに分化など数10種類を用意しています。

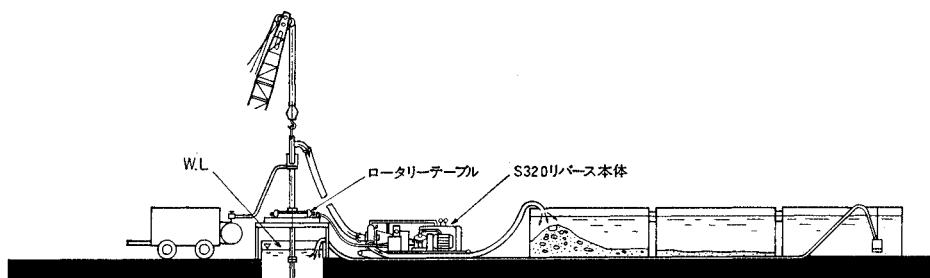
熱線流速計 21-1000 ser.



KANOMAX
 日本科学工業株式会社

本社・工場 / 大阪営業所
 大阪府吹田市清水2番1号 〒565 TEL 大阪(06)877-0443(代)
 東京営業所
 東京都千代田区1番町9番地 〒102 TEL 東京(03)265-4861(代)
 名古屋営業所
 名古屋市中区大須4-1-71(時計ビル) 〒460 TEL 名古屋(052)241-0535

- ンク輸送研究会
- 482 世界最大の自動車運搬専用船「神悠丸」(121-124) 三菱重工業(株)神戸造船所造船設計部
- 483 港湾紹介—鹿児島港—(125-130) 原田頼雄
OCEAN AGE 7—12 75—12
- 484 大転機を迎えた造船王国—人員、設備の整理は必至—(6-9) 名和 修
- 485 海洋開発機器の現況と将来—日機連、CRC のレポートでみる—(10-14) 土田芳樹
- 486 第6回国際海洋シンポジウム開催—ニューヨーク海洋法会議に暗雲—(16-17) 中村政雄
- 487 海洋気象予報と波高観測(18-19) 中村政雄
- 488 放射性廃棄物の海洋投棄と各国の動向(20-24) 浅井恒雄
- 489 オキアミ開発と資源管理(25-28) 本郷 滋
- 490 漁業と水産資源に関する各種の規制と許認可手続き(30-33) 小林芳雄
- 491 海洋資源開発と開発機器に関する許認可手続き(34-35) 北爪由紀夫
- 492 潜水船・沿岸開発・海洋構造物海洋汚染防止に関する許認可手続き(36-38)
- 493 海洋の利用に関する許認可手続きについて(40-42) 高橋健文
- 494 環境保全に関する許認可手続き(43-46)
- 495 海洋開発見たまま聞いたまま(1) アラスカ横断パイプラインとオーロラ(70-71) 芦野民雄
- 496 油防除作業の問題点と対策 1. オイルフェンス展開作戦(72-76) 松本 謙
- 497 海洋博の中間報告—入場予想を下回る(48-49)
- 498 プリジストン・オイルスキマーの公開実験をみて(50-51)
- 499 シートピア計画 100 m 海中実験成功裡に終了(52-52)
- 500 潜水船建造の特殊性(4)—電気装置—(54-59) 池田玉治
- 501 沈没潜水艦の救難システム(60-63)
- 502 水中アイ・ロボットの開発(65-69)
OCEAN AGE 8—1 76—1
- 503 海洋開発の現状と見通し(8-12) 伊原義徳
- 504 試練の年 '76 年の海洋開発(13-16) 浅井恒雄
- 505 1976 年の水産業界の展望と課題(18-22) 浅野一郎
- 506 混迷を続ける水と油の対立(23-25) 土田芳樹
- 507 海洋環境 '76 年の海洋開発(27-29) 本郷 滋
- 508 建設省における '76 年の海洋開発(31-34) 松田文彦
- 509 ドロ沼に突入する 51 年の海運界(35-38) 名和 修
- 510 '76 世界の海洋開発(39-41) 中村政雄
- 511 世界の海に財宝を探る(66-71) 沼田貞三
- 512 謎に包まれた木造戦艦の沈没“バーサ号”の悲劇(73-76) 浅井恒雄
- 513 開陽丸の発掘作業—水中考古学の課題(78-82) 宮下正司
- 514 見直される日本周辺大陸棚石油開発(43-47) 清水光夫
- 515 新連載・海洋開発の原点 1. 運輸省における海洋開発(49-54) 運輸省
- 516 海洋開発見たままきいたまま—カナダの海洋研究所(57-60) 芦野民雄
OCEAN AGE 8—2 76—2
- 517 水海航行商船の開発(8-11) 名和 修
- 518 注目されるオメガ・システム(12-14) 浅井恒雄
- 519 深海漁場の開発(16-18) 斎藤周男
- 520 魚肉タンパク・プロジェクト動き出す スケソウダラを豚肉と同じ味に一ポスト海洋法の食糧資源対策(20-21) 土田芳樹
- 521 動き出した本四架橋—大三島橋の着工でようやくプロジェクト再開—(23-24) 松田文彦
- 522 海の浄化は進んでいるか—49 年度環境庁調査(26-27) 本郷 滋
- 523 水資源としての氷山(28-29) 中村政雄
- 524 わが国の油回収装置と回収船(38-44) 編集部
- 525 欧米における流出油防除政策と回収装置の利用状況(上)(46-48) 本橋大義
- 526 タンカー残存油抜き取り移送装置(ADAPTS)(50-52) 溝端 智
- 527 ペリカンスキマーについて(53-55)
- 528 油防除作業の問題点と対策(2) 油回収器・回収船有効作戦(57-61) 松本 謙
- 529 油回収船における油圧装置について(62-62)
- 530 海洋開発の原点 2—運輸省における海洋開発(64-67) 運輸省
- 531 海洋開発見たままきいたまま 3—ソ連の水海研究所をたずねて(69-71) 芦野民雄
水処理技術 16—12 75—12
- 532 2次処理水の水質とオゾン処理の効果(1-7) 宗宮・河原
- 533 簡易流量均一化槽の試作(9-11) 山本宏司, 外
- 534 紡績織布染色工場の地下水利用合理化に関する調査研究(第一報)—紡績織布染色工場における水使用の実態調査—(19-23) 五十畑・水本・吉田
- 535 ポリビニルベンジルメルカプタンによる排水中の水銀イオンの除去に関する研究(25-27) 田本陸雄
- 536 食鳥処理場排水の水量と水質について(29-40) 田中信寿, 外 5 名
- 537 異種運転条件の熱交換器における沈積物組成とリン酸系スケール指数について(59-65) 柏原正純, 外 3 名
- 538 高塩濃度、複合有機性廃水の生物学的処理技術(67-69) 岡部宗
水処理技術 17—1 76—1
- 539 水質汚濁と産業廃棄物(1-2) 岩井重久
- 540 界面活性剤含有廃水の光酸化処理(3-8) 村上幸夫, 外 5 名
- 541 住宅団地屎尿浄化槽の改造とその効果(9-27) 伊藤・本多
- 542 紡績織布染色工場の地下水利用合理化に関する調査研究(第二報)—紡績織布染色工場における水使用量削減の検討—(29-35) 五十畑・吉田・水本
- 543 海水中におけるカドミウムの植物プランクトンの分解におよぼす影響とその挙動(37-40) 本橋・小倉
- 544 活性炭を接触材とするアンモニアの硝化—その 6—(41-45) 武田福隆, 外 4 名
- 545 固定化活性汚泥による排水処理(53-62) 早川 潔
- 546 活性炭の寿命を延ばす方法(I)—酸素(空気)酸化—(63-70) 椎木善弥, 外 3 名
水道協会雑誌 495 75—12
- 547 週休 2 日制と交替制勤務(2-10) 中谷完二
- 548 水道計画最適安選定の新しい手法—水道整備アセスメント法による計画案の選定(11-20) 大槻 均
- 549 地下水人工かん養の水理(I)—かん養池の水理機構—(21-34) M.T. ヨーノス
- 550 通常の浄水処理による重金属等汚染物質の除去に関する研究(I)(35-48) 厚生省水質基準策定除去試験研究班



水が主役の
大口径・大深度孔の
掘削工法。

大口径・大深度孔の掘削に最も理想的といわれている
 リバースサーキュレーション工法。

鉄道や高速道路の高架・橋梁などの基礎工事で、
 その高性能ぶりを発揮しています。

地上高さに制約のある所でも、
 足場の悪い現場でも、作業は容易です。
 コンパクトにまとめられたパワーユニットと掘削装置
 が切り離されているので、高架やガード下、水上
 など制約の多い現場で施工する場合でも作業は容
 易に行なえます。

大深度でも掘削能率は落ちません。
 回転式の連続掘削で、排土も絶えず行なわれま
 すので、深度が増しても能率は落ちません。



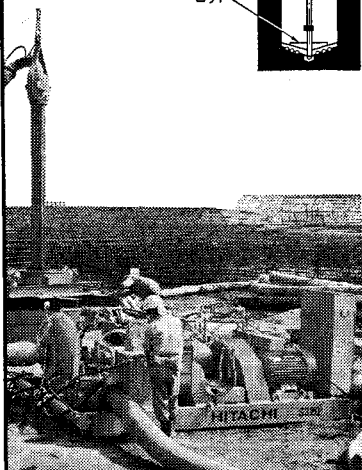
S320 最大掘削口径 3,200mmφ 最大掘削深さ 300m(理論値) **S600** 最大掘削口径 6,000mmφ 最大掘削深さ 500m(理論値)

日立リバースサーキュレーションドリル



日立建機株式会社

東京都千代田区内神田1-2-10
 〒101 TEL (03) 2285-3611(代)



- 551 昭和50年度(第23回)水道事業管理者研修会—公営企業の問題点(49-60)
水道協会雑誌 496 76—1
- 552 広域水道計画(I)(2-7)大槻 均
- 553 活性炭吸着プロセスの動力学(I)—細孔内拡散モデルによる回分式吸着プロセスの評価—(8-24)丹保憲仁, 外3名
- 554 管網計算のエネルギー的意義(25-36)小出 崇
- 555 通常の浄水処理による重金属等汚染物質の除去に関する研究(II)(37-45)厚生省水質基準策定除去試験研究班
- 556 速記録:転換期の賃金問題(46-55)舟橋尚道
用水と廃水 17—12 75—12
- 557 金属表面処理施設の無排水クロードシステム(3-11)池田豊
- 558 廃棄物埋立に伴う環境汚染防止に関する研究(I)—ごみ海岸埋立における汚濁物質の溶出—(13-18)山田浩一, 外3名
- 559 クロム系スラッジおよびそのセメント固化体からの溶出に関する研究(21-26)中井・実戸・荒,
- 560 赤潮防除技術事業化試験におけるヘドロ浚渫, 処理実験と考察(33-44)高木春男
- 561 貯留閘敷法による矢作川の流出解析(45-56)大野俊夫
- 562 クリスタルダイオレット法による微量水銀定量法における過マンガン酸カリウム処理の効果について(69-73)齋・藤沼
用水と廃水 18—1 76—1
- 563 水質保全のための生物利用の課題(5-8)金子光美
- 564 有機スラッジを利用したミミズの人工養殖(9-13)溝渕哲哉
- 565 生態系を利用した廃水処理システム(15-19)牧野信司
- 566 光合成細菌による廃水処理(23-35)北村・小林
- 567 回転円板法による廃水処理(37-46)中山勝夫
- 568 変異菌による廃水処理(51-59)秋月・岡
- 569 大阪市における生物接触酸化法による窒素の除去(60-76)内田信一郎
- 570 有害物質処理技術(4)(77-83)川原 浩
用水と廃水 18—2 76—2
- 571 塩素処理と有機塩素化合物(3-9)森田昌敏
- 572 オゾン水処理におけるオゾン溶解装置(13-21)田畑則一
- 573 土壌汚染の現状と対策(22-28)戸塚理光
- 574 放線菌の培養とかび臭物質の検出(33-38)諏訪・乙幡
- 575 河川管理における汚濁流達率の研究(1)(39-48)和田・中山・児島
- 576 渥美半島における地下水中のケイ酸の分布に関する調査研究(51-53)河合・彦坂・種村
- 577 産業廃水活性汚泥の肥料的利用(1)—各種乾燥汚泥の肥料的価値—(54-60)吉田 環
- 578 水産加工(魚類缶詰)工程の改善による排水の汚泥負荷量の削減(61-65)内田・手塚・松下
- 579 有害物質処理技術(5)(66-72)川河 浩
工業用水 207 75—12
- 580 産業構造審議会工業用水基本政策部会について(2-5)新欣樹
- 581 武庫川流域下水道の再生利用について(6-25)佐々木政則
- 582 底質の固化処理に関する材料及び技術について(26-45)木次・小関
- 583 陰イオン界面活性剤を用いた重金属含有排水処理に関する研究(その2)—カドミウムの沈殿除去に及ぼす鉄(II), 鉄(III)の添加効果—(46-51)甲斐田泰彦, 外4名
- 584 高分子凝集剤への硫酸ナトリウム配合の凝集性能に及ぼす影響(52-58)名古屋勉, 外7名
- 585 廃水中の重油類の測定法(59-63)緒方正名, 外4名
工業用水 208 76—1
- 586 中国地方における工業開発と工業用水—その背景と今後—(6-12)橋平賢郎
- 587 水質分析法の現状と動向(13-19)梅崎芳美
- 588 排水分析法の展望(20-28)蟹江照行
- 589 活性炭処理施設の建設について(29-38)柳瀬 晃
- 590 大環状ポリエーテル分析化学及び環境化学への応用—(39-46)赤堀禎利
- 591 群馬県東毛地域地下水利用適正化調査報告(47-75)東京通商産業局総務部開発業務課
- 592 アフリカ見聞録(76-82)嶋田隆雄
空気調和・衛生工学 49—12 75—12
- 593 室内気流分布の水による模型実験(1171-1182)佐藤一省, 外
- 594 室内気流の数値解析(3)(1183-1194)吉川・山口
- 595 給水管路系の水撃作用に関する実験的研究(1195-1206)村川・芳村
- 596 著作権について(1207-1212)黒沢節男
- 597 空気調和・衛生工学会における著作権問題(1213-1217)美作治夫
空気調和・衛生工学 50—1 76—1
- 598 沖縄国際海洋博覧会について(2-13)久保賢次
- 599 ユーティリティに関する調査研究(14-32)井上宇市
- 600 基本構想(34-45)尾島俊雄
- 601 設備全体計画と地域冷房設備実施設計(46-71)齋藤忠義, 外3名
- 602 上水道設備(72-87)箭内 勤
- 603 電気設備の概要(88-108)松室・辻浦
- 604 パビリオン—みどり館(110-117)中原・清水・戸井
- 605 パビリオン—アクアポリス(118-123)森・山本
- 606 パビリオン—水族館(124-134)荒井・丸吉・町田
- 607 空気調和のための自動制御(1)(135-145)中水 靖
- 608 遠心送風機の発生騒音(147-149)吉田 亨
交通工学 10—6 75—11
- 609 幹線道路周辺の騒音実態とその予測について(3-11)青島・吉田・河上
- 610 タイムシェアリングによる街路網の交通運用とその効果(12-23)奥谷 敏
- 611 モーダルミックス手法を用いた混合トリップ考察(25-33)近藤・宮崎
- 612 北欧語を中心とした交通工学の用語(1)(34-46)加藤 晃
- 613 交通工学のための法律講座(5)—交通の管理—(47-55)小林・岡・竹内
- 614 路側設置物等の事故に及ぼす影響に関する研究(その2)(56-62)
- 615 都市交通計画における問題点(64-65)河上省吾
交通技術 373 75—11
- 616 奥羽南線の電化設備(5-7)石塚絃明
- 617 奥羽南線大曲—秋田間ほか1駅間の線路増設工事(8-12)星野・穴沢
- 618 奥羽南線の輸送改善(13-15)北村 亨
- 619 防音ディーゼル機関車(24-25)永瀬和彦
- 620 東北本線大宮—黒磯間のレール更換(26-29)馬場亮介

総合メーカーならではの

高品質さく岩機

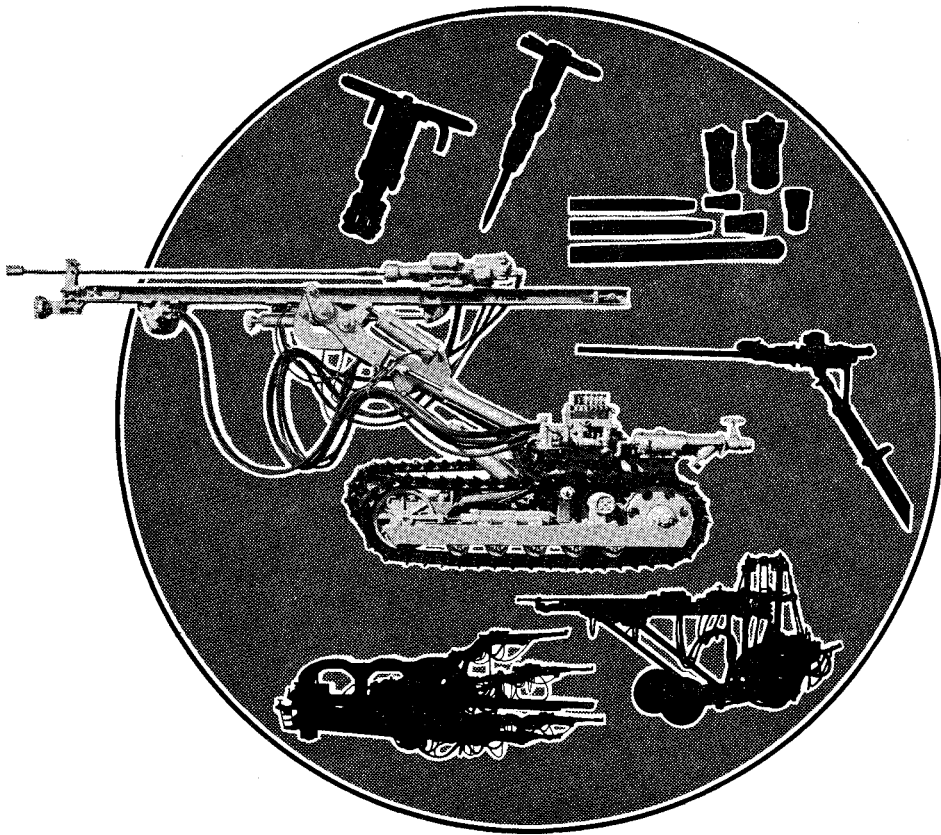
広範な技術力が高い品質と信頼性を確立

変化に富む日本の岩質を経験し、研究し、改良を重ねてきました。そして大切なビット・ロッドをも自社生産してきました。鉱山用、土木用の幅広い製品系列を揃えてきました。これらは、トーヨーさくがんき全体の品質を相互

に高めてきた大きな秘密です。

中でも好評の重量級4機種

蓄積されたトーヨーの技術が生んだクローラードリルの数々。大口径さく孔をスピード化し、長孔さく孔の効率を高め、操作のしやすさや走行時の安定性でも定評があります。



発売元

東洋さく岩機販売株式会社

東京本・支店：東京都品川区東五反田1丁目13-12(秀和五反田ビル)
支店・営業所：大阪・名古屋・福岡・札幌・仙台・広島・高松

製造元 **東洋工業株式会社**

621 急勾配用軌道モーターカーの開発 (30-32) 牧野茂樹
交通技術 374 75-12

622 期待する潮流の変化 (2-5) 尾関雅則

623 線路の保守 きょう・きょう・あす (16-23)

624 国際運輸会議に出席して (6-9) 武田 宏

625 日本コンピュータ会議に出席して (10-12) 桑折恭一郎

626 第26回停車場技術講演会を傍聴して (その1) (13-15) 東島与一郎

627 新幹線電車廃車解体設備について (24-27) 石井一淑

628 桜井線と歌山線王寺—五条間および草津線の経営改善計画 (28-29) 石塚紘明
道 路 418 75-12

629 第12回日本道路会議開催の経過報告 (6-6) 井上 孝

630 論文委員会・部会・座談会・海外参加者懇談会報告・論文委員会報告 (7-7) 市河 薫

631 行政・経済・計画部会報告 (8-8) 多田宏行

632 土工部会報告 (9-10) 三野栄三郎

633 トンネル部会報告 (10-10) 長友成樹

634 舗装部会報告 (11-12) 物部幸保

635 橋梁部会報告 (12-13) 玉野治光

636 維持管理・道路付属物等部会報告 (13-14) 渡辺修自

637 交通部会報告 (14-15) 石戸 明

638 都市計画部会報告 (15-16) 渡部与四郎

639 「有料道路整備の展望」の報告 (17-18) 増井建一

640 「トンネル設備計画上の諸問題」の報告 (18-19) 三谷 健

641 「最近における舗装の諸問題」の報告 (19-20) 大島哲男

642 「古い橋・新しい橋」の報告 (20-21) 鈴木俊男

643 「道路利用者を災害からいかにして守るか」の報告 (21-22) 渡辺 尚

644 「これからの道路空間のあり方」の報告 (23-24) 大塚全一

645 海外参加者懇談会報告 (25-26) 武田 宏

646 昭和50年度道路関係補正予算の概要 (33-40) 鹿島尚武

647 エアスピニング工法によるケーブル工事 (41-48) 坂本, 外

648 大規模自転車道の整備 (49-54) 佐藤 清

649 交通事故対策からみた路面標示改良に関する一考察 (55-63) 岡・洲鎌・久米

650 道路史余話—日本橋 (その9) (68-71) 吾郷東二郎

651 昭和49年度全国道路交通情勢調査報告 (その2) 自動車起終点調査 (72-81) 道路局道路経済調査室

652 高速国道の路線番号制 (82-88) 時乗 浩

653 昭和50年度災害の概要と道路の災害復旧について—徳島県の被害・青森県の道路災害・秋田県の豪雨災害と復旧・北海道の連続台風と道路災害 (89-96) 玉光弘明

654 昭和50年度橋梁工学国際研修コースについて (97-100) 福田 実

655 技術シリーズ2—最近の土木計測について (101-104) 榎波義幸
道 路 419 76-1

656 明日の道路を考える—若手道路マン新春放談— (12-23)

657 自動車騒音と道路交通騒音 (24-30) 坂上文寿

658 防食鋼管ぐい海洋びくろ試験 (31-36) 建設省土木研究所・(財)国土開発技術研究センター・鋼管杭協会

659 一般国道330号線改良工事—伊租トンネル工事— (37-43) 金城正雄

660 高速道路の維持管理費の内容と問題点 (44-49) 吉田・森谷

661 東京坂物語 1 よみがえれ坂道 (61-65) 俵 元昭

662 宅地開発団について (66-70) 樽崎泰道

663 技術シリーズ3 路面性状とその影響 (71-77) 栗本典彦
道 路 420 76-2

664 新経済計画の動向 (2-7) 建設省道路局路政課・企画課

665 主要地方道の指定 (8-15) 建設省道路局企画課

666 訪中橋梁技術交流報告 (16-24) 平井・田辺

667 街路空間の心理的效果について (25-32) 天野・藤壇・柳原

668 都市内舗装の2, 3の試み (33-38) 有山勇次郎

669 道路における盲人の歩行誘導システムの開発 (39-45) 佐藤・山川

670 東京坂物語 2 忘れられた坂道 (52-55) 俵 元昭

671 青森の橋散策 (56-67) 三上禮三郎

672 ガイドウェイ・バス・システム設置基準 (案) (68-73) 野村和正

673 技術シリーズ4 最近の軟弱地盤工法 (74-78) 稲田倍徳
道 路 建設 333 75-10

674 歩行者からのアプローチ (4-6) 牛島震吉

675 最適環境対策の選択 (7-9) 平永 博

676 都市景観と道路 (10-11) 久保 貞

677 住民運動と公共事業 (12-14) 定井喜明

678 買物公園という名の道路 (16-17) 石井一郎

679 道路にも安らぎとロマンを (18-20) 半井範明

680 志賀高原の幾つかの道 (21-23) 岡部牧夫

681 富山県小矢部市周辺のみち (24-26) 松本正雄

682 新4号国道の現況 (27-31) 吉田 巖

683 名濃バイパスの整備事業 (32-38) 福井迪彦

684 佐賀国道工事事務所の道路整備事業 (39-45) 米村, 外

685 コンクリート舗装工事の実態 (2)—東北自動車道矢板〜白河間— (46-51, 64-65) 日本道路建設業協会セメント・コンクリート舗装工事施工歩掛り実態調査委員会
道 路 建設 334 75-11

686 低成長下の道路行政 (3-5) 佐竹義昌

687 低成長経済下の高速道路 (6-9) 都 次郎

688 道路と緑化雑観 (10-12) 四手井綱英

689 楽しい道路 (13-15) 山高 茂

690 文化の道 (16-17) 最上武雄

691 続・道路建設の歴史あれこれ (18-20) 菊岡俱也

692 金沢工事事務所の道路整備事業 (32-37) 葉袋正明

693 小沢トンネルの施工について (1) (38-45) 高橋一男

694 昭和48年度竣工道路橋一覧表 (3) (46-55)

695 茨城県の都市づくり街路づくり (56-60) 松本成男
道 路 建設 335 75-12

696 延長から幅の拡大へ—道路財源のオープンどころではない (3-5) 坪井良一

697 低成長経済下の道路整備 (6-9) 谷村喜代司

698 みちと環境 (10-11) 品田 穰

699 これからの道路建設 (14-18) 赤津武男

700 あるスキー選手の話から—高速道路反対論 (19-21) 津野和男

701 高速国道路線番号案の疑問点 (22-23)

702 開発途上国の交通事情 7. パラグアイ (24-29, 37) 鳥山正光

703 路盤凍凍のことなど (30-31) 安山信雄

704 多径間連続高架橋 (1) (32-37) 玉置 脩

705 雪害・土砂害に関する道路情報のシステム化(その2の1) (38-45) 石井一郎, 外3名

706 道路公団東名阪工事事務所の近況 (46-51) 柳瀬文男

707 小沢トンネルの施工について (2) (52-56) 高橋一男

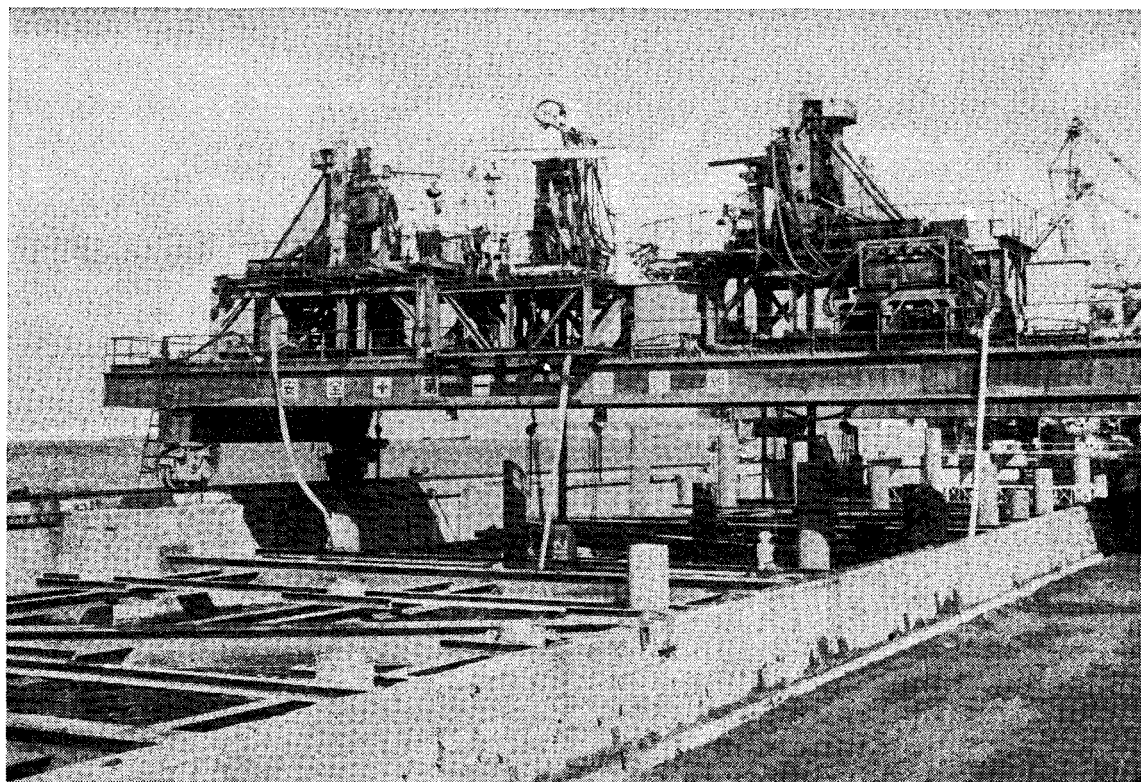
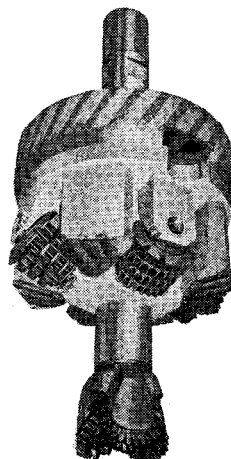
硬岩の大口徑掘さくは

ビッグマン工法

■掘さく径 2500mmまで■

花こう岩・捨石・玉石層でも全く問題は
ありません。

どんな超硬岩でもBIG MANで掘れない
ものはありません。



東京都目黒区平町2-20-13

☎(717)1141(代)

KOKEN

鉋研試錐互業株式会社 工事事業部